

外来化学療法におけるピカピカリンクの ノート機能を活用した胆管がん患者支援の一症例

(株)大 平 タイハイ薬局メディカルモールしろいし店
吉田 貴大

発表に関連し、開示すべき利益相反(COI)関係に
ある企業・法人組織や営利を目的とした団体はありません。

第11回全国ID-Link研究会

COI開示

発表者名：吉田 貴大

所属：タイヘイ薬局メディカルモールしろいし店

演題発表に関連し、発表者らに開示すべき
COI関係にある企業などはありません。

緒言

厚生労働省の策定した患者のための薬局ビジョンでは、薬局が患者等のニーズに応じて充実・強化すべき機能として高度薬学管理機能が示されており、専門機関と連携し抗がん剤の副作用対応や抗HIV薬の選択などの支援等を行うとされている。

当薬局においては、外来化学療法を行っている患者に対しての副作用対策や継続的な体調の変化のフォローアップを行い、佐賀県診療情報地域連携システム(以下、ピカピカリンク)を活用して情報提供を行っている。

この発表では、ピカピカリンクのノート機能を活用して医療機関と薬局で連携した症例について報告する。

症例

- 70歳代女性、夫と同居
- 肝内胆管癌 (adenocarcinoma)
- レジメン: テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム
(以下、エスワンと表記) 単独療法
- 左胆管に内視鏡的胆道ドレナージ (ERBD)
- 併存疾患: 高血圧症、クローン病

経過

20xx年4月 肝門部領域胆管癌疑いで肝外紹介初診

20xx年5月 肝外外来で本人手術希望なし、重粒子線治療希望と申告。

20xx年6月 重粒子線治療

20xx年8月 エスワン 100mg/day 2週間投与 1週休薬で開始

20xx年9月 当薬局での調剤を希望され、エスワン2コース目より介入開始(テレフォンプォローアップを1週間ごとに実施)

20xx+1年6月 急性胆管炎で入院。ステント交換施行。

20xx+1年9月 エスワン 100mg/day 1投1休継続

介入方法：テレフォンプォローアップと医療機関への報告

テレフォンプォローアップの流れ

①テレフォンプォローアップの紹介

②お薬手帳に適用レジメンを記入

③電話連絡する日時を患者と相談・決定

④テレフォンプォローアップ実施

⑤トレーシングレポート + ノート機能で医療機関に報告

⑥レポート内容もとに担当医にメッセージ送付

⑤速やかに連携担当薬剤師に電話

重篤な副作用があった場合



※調剤報酬絡みの説明は保険薬局サイドでお願いいたします

IDLinkのノート機能

ようこそ 吉田 貴大(タイハイ薬局メディカルモールしろいし店) 様

選択> 連携登録一覧>

個人情報変更 女性 歳

ノート表示 参加登録 通知表示

オーダ一覧に戻る 下記内容を変更する 下記内容を削除する

[20:15:00] 薬剤師ノート
『テレフォンフォローアップ』
記載者: タイハイ薬局メディカルモールしろいし店 吉田 貴大

テレフォンフォローアップ

●S-1 21コース目day7

●S(本人):【食欲不振・倦怠感】体はきつい、昼ご飯食べてからきついから寝ていた。今日はだるかった、今日が一番きつかった、昨日はきつかったけどどうにしていた、一昨日まではよかったですけど。お休みの時の良かったけど。思苦しいかんじ。熱はなかった。食事は朝はちょこっと一口くらい食べて、昼ごはんはおいしかったので普通のぐらい食べて、昨日の夜はそこまで食べれなかった。普段の8割くらいの食事量です。食事内容は、水分ばかり取って、果物ばかり食べる、おかずはあんまり食べたくない。リンゴジュースを飲んで、ヨーグルト食べて、白ご飯は2口くらい、お茶かけて食べやすくして食べている。体重は61.0kg くらいかな。甘いものばかり食べて、最中など食べて。お昼のおはぎ食べてという感じ。胸のあたりから倦怠感がある。【味覚異常】味はそこまで変化はなく味は感じる、ポラプレジック飲んでいるのでそこまで味覚障害はなく、苦みもない。【排便】便秘はしてたのでマグネシウムを飲んだ、今朝は便は出たけど、便秘気味で、硬い便ちょこっと出る感じ、お腹の苦しさはない。便は1日1回は出ているけど、硬くて量は少ない。【皮膚掻痒感】保湿剤(ヘパリン)を塗ったら痒みはいいが、かゆくなりだしたらどうしても我慢できない感じ、保湿剤はまだ2本あり。【その他】発熱なし。咳嗽なし。」

●薬剤師からのコメント

21コース目のday7のフォローアップです。そのコースのエスワン内服開始してから4~5日後に食欲不振、倦怠感が出るようで、day6・7は特にきつかったとのこと。排便に関して、1日1回排便はあるようですが、固い便で量も少ないとのことgrade1の便秘としております。緩下剤は、酸化マグネシウムやアミティーザを使用されています。前回聞き取り時から体重はそれほど変動ありません()。皮膚掻痒感へヘパリン類似物質クリーム0.3%「日医工」の使用でコントロールされていますが、どうしてもかゆい時はあるようでgrade1の皮膚掻痒であると思われます。副作用のコントロールは現在処方されている薬の使用で大きな問題はありますが、体重がやや減少傾向なので食思不振には注意が必要ではないかと思われます。

※トレーシングレポートは薬剤部に送付済。

IDLinkの機能の一つであるノート機能は、診療情報を開示する施設に対して、IDLinkを閲覧する施設側から情報提供する際に使用できる機能である。

当薬局では、抗がん剤による治療を受けている患者の体調等のモニタリングを行った際や、副作用発現があった場合に、医療機関に対してノート機能を使用して情報提供を行っている。

ノート機能を活用した患者紹介

(薬剤師) - (薬剤部)

20 17:39 薬剤管理記録

タイハイ薬局メディカルモールしろいし店より情報提供

9:30 末局時フォローアップ

●S-1 9コース目 day14

●S (本人) : 「エスワンはしっかり飲んでいる。発熱なし、咽頭痛なし、咳なし。便は少し柔らかめの便、排便は一日一回、ムカムカして食事は8割ほど、明日からエスワンは休みなのでそれが楽しみ。ヤクルトなどを飲んで苦みを感じるが、味覚障害かな？苦みを感じるから甘いものばかり食べているけどダメですね。口の中はネバネバして、乾燥している感じはある、おさ湯が飲みたくなる。食べれないときは水分ばかり取っている。手はさかむけはあり、痛みも少しあるのは変わらず。手足にしびれなし、口内炎なし。体重は62kg。」

●薬剤師からのコメント

9コース目のday14のフォローアップです。今回の聞き取りで味覚障害とみられる訴え有り。口腔内の乾燥、ヤクルトを飲んだ時に苦みを感じる。エスワンの9コース目であり、味覚障害の原因としては口腔粘膜炎、口腔内の乾燥、亜鉛の欠乏などで起こるとされていますが、当該患者様は口腔内の乾燥はあり、 の処方されているアズノールは使用されているようです。引き続き状態をモニタリングしますが、亜鉛欠乏が懸念される場合は血液検査のオーダーにさせていただくか、口腔内の乾燥に対しては、サリベートなどもご検討いただけますと幸いです。皮膚掻痒は持続、指先にさかむけはあり、さかむけは広範囲ではない、軽度の疼痛あり、保湿剤は継続するよう指導しています。エスワンによる食欲不振はあり、体重減少はなし、嘔気と食欲不振はgrade1としております、食事摂取量は8割程度とのこと。次回フォローアップは を予定。

●エスワン9コース目 day14

乳酸菌飲料を飲む際に苦みを感じると患者より聴取。口腔内の乾燥あり(味覚障害grade1)

ノート機能を用いて副作用の発現状況と味覚障害に対する支持療法について処方提案し、情報は地域連携室と薬剤部を通じて情報共有された。

処方提案後にポラプレジンク(75mg/回 朝夕食後)が追加となり、ポラプレジンク開始後28日後に味覚障害grade0-1となり、改善が認められた。

結果

過去1年間のテレフォンプォローアップの回数および
ピカピカリンクのノート機能による医療機関への情報提供は23回。

処方提案を行った回数は4回。

ノート機能で提供された情報は薬剤部を通して
医療機関のカルテに転記され、院内で情報共有された。

考察

医療機関への情報提供を行う場合に、トレーシングレポートとピカピカリンクのノート機能のいずれでも情報提供可能であるが、トレーシングレポートと比較してノート機能の有用な点としては
カルテへの転記が簡便なこと、テキストの量が多い場合や画像の添付などデータ量が多くなっても情報提供可能な点が挙げられる。

しかしながら、トレーシングレポートでは、副作用のグレード評価を表で作成することもでき、服薬状況も含めて一目でわかるという利点もある。今回の患者介入ではトレーシングレポートとノート機能の両方を用いて情報提供を行ったが、それぞれ有用な点が異なるため、医療機関の運用方法を把握して適切に使い分ける必要があると考えられる。

参考文献・書籍

- ・患者のための薬局ビジョン/厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000102179.html>

- ・プロトコルに基づく薬物治療管理/栃木県薬剤師会

<https://www.tochiyaku.com/%E3%83%97%E3%83%AD%E3%83%88%E3%82%B3%E3%83%AB%E3%81%AB%E5%9F%BA%E3%81%A5%E3%81%8F%E8%96%AC%E7%89%A9%E6%B2%BB%E7%99%82%E7%AE%A1%E7%90%86/>

- ・薬剤使用期間中の患者フォローアップの手引き」について/日本薬剤師会

https://www.jstage.jst.go.jp/article/yakushi/143/2/143_22-00181/_pdf/-char/ja

- ・がん化学療法レジメンハンドブック/羊土社
- ・がん化学療法副作用ハンドブック/羊土社